【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2011-165447(P2011-165447A)
【公開日】平成23年8月25日(2011.8.25)
【年通号数】公開・登録公報2011-034
【出願番号】特願2010-26017(P2010-26017)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　3/00　(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　7/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　3/00　３１０Ｅ
Ｅ０６Ｂ　7/28　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成23年7月28日(2011.7.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項５】
抵抗体を含むガラス体の状態を導出するためのガラスシステム用処理装置であって、
前記抵抗体の大きさに基づく昇温プログラムデータを記憶した記憶部を有し、
電流測定部により測定された電流値と温度測定部により測定された前記ガラス体の温度とに基づき、前記昇温プログラムデータを参照して、前記ガラス体の状態を導出する処理装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項７】
コンピュータに、
記憶部からガラスシステムの抵抗体の大きさに基づく昇温プログラムデータを読み出すステップと、
電流測定部により測定された電流値と温度測定部により測定されたガラス体の温度とに基づき、前記昇温プログラムデータを参照して、前記ガラス体の状態を導出するステップとを実行させるためのプログラム。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
２．処理装置
本発明の処理装置は、
抵抗体を含むガラス体の状態を導出するためのガラスシステム用処理装置であって、
前記抵抗体の大きさに基づく昇温プログラムデータを記憶した記憶部を有し、

電流測定部により測定された電流値と温度測定部により測定された前記ガラス体の温度とに基づき、前記昇温プログラムデータを参照して、前記ガラス体の状態を導出する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
３．プログラム
本発明のプログラムは、
コンピュータに、
記憶部からガラスシステムの抵抗体の大きさに基づく昇温プログラムデータを読み出すステップと、
電流測定部により測定された電流値と温度測定部により測定されたガラス体の温度とに基づき、前記昇温プログラムデータを参照して、前記ガラス体の状態を導出するステップとを実行させるためのものである。